計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

(1)固定資産の原価償却について

什器及び備品・・・減価償却は定額で実施している。

(2)資金の範囲にいて

資金の範囲は現金・預金及び預り金である。

尚、前期末及び当期末残高は3に記載のとおりである。

2 基本財産の増減及びその残高は次のとおりである。

(円単位)

科目	前期末残高	当期増減額	当期末残高
定期預金(基本金)	3,000,000	0	3,000,000

3 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

科目	前期末残高	当期末残高
預 金	566,501	285,703
現金	0	22,246
計	566,501	307,949
前受け会費	550,000	18,000
預り金(理事の方の立替金)	1,338,600	600,000
預り金(職員の源泉課税他)	2,168	6,954
計	1,890,768	624,954
次期繰越収支差額	-1,324,267	-317,005